

# 最上町すこやかプラザ

## 施設概要

事業主体：最上町

施設名称：最上町すこやかプラザ

所在地：最上町大字向町 860-2

用途：認定こども園・子育て支援センター



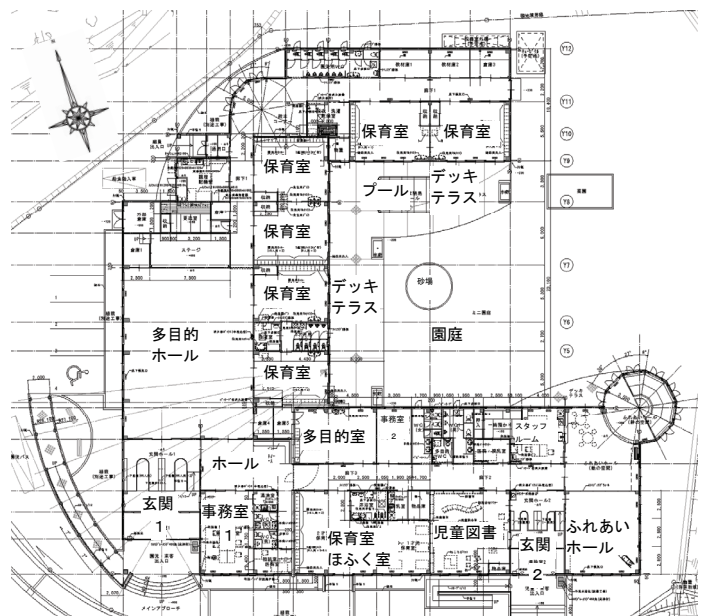
《外観写真》外壁の腰壁に木の羽目板張を施し、経年により徐々に建築物の風格が現れるよう計画した

## ●施設の特徴、内容

最上町すこやかプラザは老朽化が著しく建て替えの必要が生じた「認定こども園」の改築と併せて、子育て世代の人々を核にした交流や研修活動の拠点施設としての機能に加え、未満児を対象とした「こどもの広場」や小学生を対象にした「放課後児童クラブ」などの子育て支援事業を行う、総合的な子育て、子育て機能や児童図書室を有する施設として整備された。

## ●設計における工夫点

町の 100 万人交流シンボルエリアのすこやかゾーンに形成に寄与するため、町の新幼児教育課程に則した、幼児教育、幼児保育の充実はもちろんのこと、子育て世代をはじめ多様な世代のひとびとがゾーン内に集い、子育てや町づくりに関する情報交換や学習、実践活動を展開し得るゾーン機能を目指した。



平面図

## ■建物情報

階数：地上 1 階

構造：木造 大断面木造

小屋組方式：和風小屋組

敷地面積：3,578 m<sup>2</sup>

延床面積：1,524 m<sup>2</sup>

各階床面積：プラザ 1477 m<sup>2</sup> ボイラ室 48 m<sup>2</sup>

最高軒高：6.038m

最高高さ：8.680m

耐火・準耐火：その他の建築物

## ■主要仕上

### 外部仕上

(屋根)：t0.6mmカラーガルバリウム鋼板立平葺き 一部平葺き

(外壁)：t14mm窯業系サイディング張り

(開口部)：アルミプラス樹脂 複合サッシ (ペアガラス)

(その他)：t12mm軒天用窯業系サイディング

### 内部仕上

(床)：天然木化粧複合フローリング (複合3種フローリング)

(壁)：ビニルクロス

(天井)：岩面吸音板 t9mm



《絵本コーナー》



《遊戯室》

《使用木材》



集成材 135.80 m<sup>2</sup>、 杉 239 m<sup>2</sup>  
 松 5.34 m<sup>2</sup>  
 計 480.14 m<sup>2</sup> 【県産木材 244.34 m<sup>2</sup>】

●遊戯室の大空間

遊戯室（スパン約 11m）の大空間を確保するため、接合部に金物を用いた木質大断面構造を採用した。相互間を化粧つなぎ梁で表し、ダイナミックな木造建築架構とした。



《廊下》



《コミュニティスペース》



《保育室》

●全体計画について

「町づくり交付金」を活用し、すこやか広場（公園）、街路が一体となって、地区の明るくさわやかな雰囲気をつくりだす計画とし、直線の使用は極力控えつつ適度に見通しが開けるように、景観的に考えられた植栽を施した。また、施設全体に温かさが感じられるよう木材を多く利用するなどの工夫を施している。

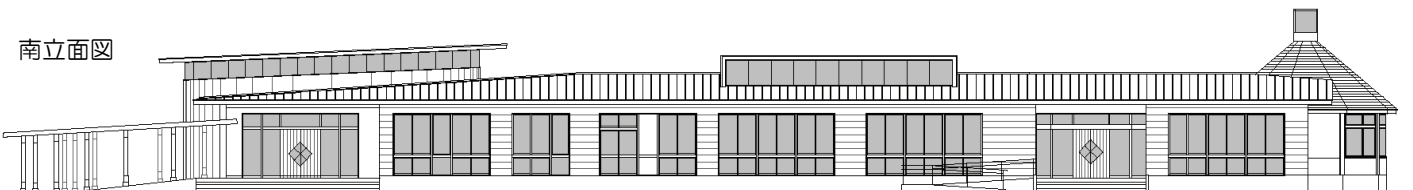
●木材の利用について

最上町ではサステナブルタウン（環境と経済が統合的に発展し持続する町）を目指し木造建築を推進しており、町内産の木材を利用した木質チップ焚きボイラーによる床暖房と融雪システムを導入した。ボイラー室は建物の外に配置し給湯は深夜電力を使用することで、火気を減らすことで安心して利用できる施設とした。

地元産木材を使用することにより、地域林業の活性化に寄与すると共に、二酸化炭素の固定化による環境負荷の低減も図られている。

また、補助電源には降雪時期以外は太陽光発電を利用することで、環境にも配慮した施設となっている。

南立面図



■事業概要

設計者：株式会社 秦・伊藤設計  
 施工者：(本体) 株式会社 大場組  
 (機械) 株式会社 巴商会 (チップボイラ別発注)  
 工期：平成 21 年 9 月～平成 22 年 3 月

設計費： 13,335 千円  
 建設費：(本体) 345,985 千円  
 (機械) 37,844 千円 (チップボイラ別発注)  
 (合計) 383,829 千円  
 1 m<sup>2</sup>あたりの建設費： 252 千円